

冬の万葉日本画展

大亦観風

『万葉集画撰』



大亦観風『万葉集画撰』より「第六十三圖 陸奥ノ國の黄金を賀し奉れる歌一（大伴ノ家持）」

2019年 1月12日(土) ~ 3月3日(日)

を辿る

主催：奈良県立万葉文化館

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）
開館時間 午前10時～午後5時30分（入館は午後5時まで）
観覧料 一般600円(480) 高校・大学生500円(400) 小・中学生300円(240)

※()は20名以上の団体割引料金・その他割引は、お問い合わせください。

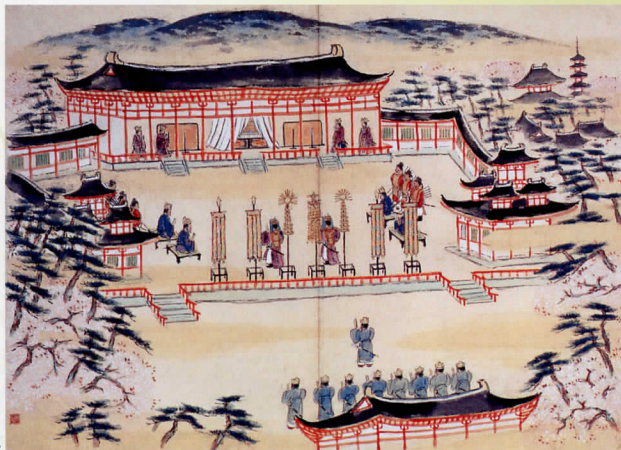
交通案内
◎近鉄橿原神宮前駅東口、飛鳥駅よりバス（約20分）
（奈良交通バス案内 テレフォンセンター 0742-20-3100）
※くわしいアクセスは当館ホームページを御覧ください。



大亦観風『万葉集画撰』より上「第一圖 雄略天皇御製」左「第六十九圖 相模の國の防人の歌（丈部ノ造人麿）」



『万葉集画撰』を辿る



大亦観風 略歴

明治27年(1894年)9月27日、和歌山市広瀬舟場丁に生まれる。本名新治郎。日本美術院洋画部出身。更に寺崎広業並びに小室翠雲に師事し日本画を研鑽。従来日本的墨絵主張の下に個人展を東京、大阪にて5回発表す。大東南宗院委員。

短歌は古泉千樫に師事。雑誌「青垣」創刊同人。昭和21年抒情短歌社を興し雑誌「抒情短歌」創刊主宰。随筆、評論の執筆多数。

昭和22年(1947年)10月22日53歳で病没。

昭和52年和歌山文化協会より先覚文化功労者顕彰を受く。



『万葉集』をこよなく愛した画家、大亦観風。本展では、歌人として、画家として活躍した観風が画と書を手掛けた『万葉集画撰』全71点を一挙に公開します。当館蔵の『万葉日本画』との比較展示などを通して、画と書、万葉歌の世界を存分にご堪能ください。

【会期中イベント】

◎学芸員によるギャラリートーク(※要観覧券)

1月13日(日)15時30分から
担当学芸員が展示室内をご案内します。

【使用画像】

1,坪内滄明「奈良春霞」2,大亦観風「第十九圖寧樂之都の歌(小野老)」3,関口正男「安見児」4,大亦観風「第十二圖采女安見児を娶たる時の歌(藤原鎌足卿)」5,清水操「立夏」6,大亦観風「第八圖天ノ香具山の御製(持統天皇)」

1,3,5,は「万葉日本画」より、2,4,6,は大亦観風『万葉集画撰』より。以上全て当館蔵。

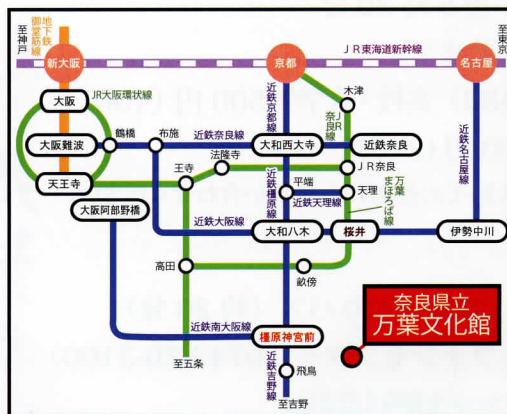


- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 開館時間 午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 入館無料(日本画展示室のみ観覧料が必要です。)
- 駐車場のご利用は無料です。

| 観覧料 | 個人 | 団体(20人以上) |
|--------|------|-----------|
| 一般 | 600円 | 480円 |
| 高校・大学生 | 500円 | 400円 |
| 小・中学生 | 300円 | 240円 |

※その他の割引についてはお問い合わせください。

- 交通案内
- 西名阪自動車道天理インター又は柏原インターから車で40分
 - 南阪奈道路葛城インターから車で30分
 - 近鉄橿原神宮前駅東口、飛鳥駅よりバス(約20分)→万葉文化館西口下車
奈良交通バス案内 テレフォンセンター ☎ 0742-20-3100



※くわしいアクセスは当館ホームページを御覧ください。

